



新宿区

『新宿力』で創造する やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和5年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和5年2月13日

事業名	女性の視点を踏まえた配慮を要する方への避難所運営体制の充実	予算(案)の概要	97ページ
予算額	令和5年度予算額 5,500千円 (前年度予算額 4,400千円)	(拡充)	
取材先	危機管理担当部危機管理課長 安藤 (電話 03-5273-4119)		

区では、東日本大震災の避難所での課題等を受け、平成24年度から女性の視点を取り入れた避難所運営体制づくりに取り組んでおり、平成30年度からは「女性をはじめ配慮を要する方の視点でのワークショップ」を全地区で実施しています。令和5年度には、全地区でのワークショップが完了する見込みであり、総括的なシンポジウムを実施する予定です。

女性をはじめ配慮を要する方の視点でのワークショップ(概要)

それぞれの活動団体の強みやネットワークを活かした「要配慮者への支援」について検討し、地域全体で支え合う体制を構築します。

- 対象地域 特別出張所地区を単位として、2地区で実施(5年間で全10地区完了)
- 対象者 防災区民組織、民生委員・児童委員、消防団、PTA等

ワークショップの内容

- 被災経験者による講演をもとに、要配慮者への支援を検討
- 避難所となる小中学校を見学し、発災時の避難所運営のイメージを醸成
- HUG(避難所運営ゲーム)により発災時の避難所開設・運営を疑似体験し、課題の洗い出しを行う

参加者の防災意識を高めるとともに、各団体の委員への意識啓発を行い、避難所における要配慮者への支援体制の充実・強化につなげます。



これまでの実施実績

年度	地区	実施回数	参加者数
H30	四谷・榎町	4回	118名 (四谷:68名、榎町:52名、その他:4名)
		HUG:1回	31名(四谷:18名、榎町:13名)
R1	柏木・角筈	3回	74名 (柏木:45名、角筈:17名、その他:12名)
		HUG:1回	36名(柏木:19名、角筈:17名)
R2	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から事業中止		
R3	落合第一・落合第二	2回	90名 (落合第一:47名、落合第二:43名)
		HUG実施なし	感染拡大防止によるプログラム変更のため
R4	大久保・戸塚	3回	90名 (大久保:33名、戸塚:57名)
		HUG:1回	23名(大久保:11名・戸塚:12名)

※R5は筆筈町・若松町での開催を調整中

ワークショップの様子



講演会

避難所見学

HUG

総括的なシンポジウムを開催します！

令和5年度に、全10特別出張所地区でのワークショップの実施が完了する見込みであることから、これまでの実施結果を踏まえた、総括的なシンポジウムを開催する予定です。

【実施時期】令和6年3月頃